

## 実施要項

### 1 目的

本校では電子黒板を導入することで、全ての教科において、生徒の学びの質を高める「分かりやすい授業」や「主体的・対話的で深い学び」を行うための効果的なICTの活用方法についての実践的研究を日常的に行っています。このような取組の成果を検証するとともに、研究成果を広く普及することを目的とし授業動画を公開します。

### 2 公開方法

オンデマンド配信

### 3 公開期間

令和4年2月24日（木）から令和4年3月9日（水）まで

### 4 動画を公開する教科（学年 科目）

#### (1) 国語(1学年 国語総合)

HR（講座）	15HR	実施教室	15HR
科目（単元）	国語総合 「幅広く文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする」 （「ペンギンはなぜ一列になって歩くのか？」佐藤克文）		
ICTを活用する目的（ねらい）	幅広く文章を読み、ICTを活用し、他の文章や他者の感想から得た情報をもとに意見を書く。		
具体的な活用方法	自然環境に関するいくつかの文章を読むために、電子黒板やMetaMojiを用いて文章を表示する。 また、グループで考えを交流するためにMetaMojiや電子黒板を用いて、それぞれの文章についての考えを書き込む。従来は個別にプリントを配布し、各自が記入後、それを見せ合って自分のプリントに書き写す、という方法をとっていた。しかし、MetaMojiの自分の画面に、グループの他のメンバーの意見も表示されたり、電子黒板に他のグループの考えが表示されたりすることで、効率よく他者の感想を得ることができる。		
活用場面	導入 ・ <b>展開</b> ・ まとめ	計 40分程度	

## (2) 数学 (1 学年 数学 I)

HR (講座)	1 4 HR	実施教室	1 4 HR
科目 (単元)	数学 I 「数と式 3 節 1 次不等式 連立不等式」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて 1 元 1 次不等式の解が求められるようにし、さらに連立不等式の解について数直線を活用することで視覚的・直観的に理解を深める。		
具体的な活用方法	2 つの不等式の共通範囲を説明するために、数直線を図示した動画を用いて重なりをイメージしやすくする。従来は、一つの数直線上に 2 つの $x$ の範囲を板書していたが、電子黒板を活用することで共通範囲を強調し、示すことができるようになった。また、数値を変更し、示す際のスペース軽減や時間短縮にも繋がった。		
活用場面	導入 ・ <b>展開</b> ・ まとめ	計 3 5 分 程度	

## (3) 地理歴史・公民 (2 学年 現代社会)

HR (講座)	2 4 HR	実施教室	2 4 HR
科目 (単元)	現代社会「消費者 (私たち) と契約」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	平成 28 年 6 月の選挙権年齢の引き下げや令和 4 年 4 月に実施される成年年齢の引き下げなどに伴い、法的なものの考え方を養う教育の必要性は高まっている。特に、成年年齢の引き下げに関しては、実践的な消費者教育の実施が喫緊の課題となっている。契約や消費者保護の前提となる私法の基本的な考え方を学ぶ必要不可欠な単元である。現在の高校 2 年生は、高校 3 年生の 18 歳の誕生日を迎えた日より「成年」としてさまざまな権利や義務が生じるようになる。ICT を活用し未成年と成年との違いを自覚し、自立した賢い消費者として豊かに生活していくための知識や態度を身に付けさせたい。		
具体的な活用方法	電子黒板とパワーポイントを活用し授業を進める。生徒は各自、ワークシートに語句や考えを記述する。ICT を活用することで、契約に関する具体的な事例を提示したり、生徒の意見を拾い出せる時間を捻出したりできる。また、授業のまとめに、YouTube で消費者と契約に関する動画視聴する。		
活用場面	導入 ・ <b>展開</b> ・ <b>まとめ</b>	計 4 0 分 程度	

## (4) 理科 (2年 化学基礎)

HR (講座)	24HR	実施教室	24HR
科目 (単元)	化学基礎「3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	Excel を利用して、自分達が実際に使用しているプロパンの量から排出される CO <sub>2</sub> の量を算出し、エネルギー問題に関心をもたせる。 世界のエネルギー問題を SDGs と絡め、自分のこととして捉え、具体的にどのような行動をしていくのか、考えを表現できるよう ICT を活用する。		
具体的な活用方法	PowerPoint を使って、動画等を利用しイメージがしやすくして化学反応と量的関係を理解させる。 Metamoji を使って、SDGs の基礎知識を理解させ、紹介する記事から掘り下げて考えて自分たちの問題として考えることができる。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	計 40 分 程度	

## (5) 英語 (1年 コミュニケーション英語 I)

HR (講座)	15HR	実施教室	15HR
科目 (単元)	コミュニケーション英語 I 「Lesson 7 Machu Picchu」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	電子黒板やタブレットを活用することで、目標：現在完了の文構造を理解し、自分の経験を話したり、相手に質問したりできるようにする。		
具体的な活用方法	PowerPoint を使って、Lesson7 の新出単語、本文の内容などを復習する。 Kahoot を使って現在完了について理解できているかを確認する。 Metamoji をつかって、みんなが考えた "Have you ever~?" の質問を共有する。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	計 45 分 程度	

(6) 保健体育 (2年 保健体育)

HR (講座)	24HR	実施教室	24HR
科目 (単元)	保健体育「加齢と健康」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	「加齢と健康」について、生徒の生活に親しみのある動画や写真を活用し、視覚的に学ぶ機会を設定するとともに、個々が自分の意見を積極的に発信することを促す。		
具体的な活用方法	PowerPoint を使って、動画等を利用し、加齢における心身の変化について理解させる。 Metamoji を使って、自分の意見をグループやクラスで共有することができる。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	計 40 分 程度	

(7) 家庭科 (2年 家庭総合)

HR (講座)	25HR	実施教室	25HR
科目 (単元)	家庭総合「8章 住生活をつくる 1節 住生活について考える」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	ICT を活用し、様々な視点から物件情報を読み取り、ライフスタイルや価値観に応じた適切な住居の選択について考えることができる。		
具体的な活用方法	4人から5人のグループに分かれて、物件情報を比較した。従来はワークシートを回したり、全ての物件情報のプリントを配布して机上にプリントが多くなってしまっていたが、Metamoji にシートを作成し、生徒が情報を把握しやすいようにした。		
活用場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ	計 40 分 程度	

## (8) 芸術 (1年 音楽 I)

HR (講座)	13・14HR	実施教室	14HR
科目 (単元)	音楽 I 「タブレットを使って耳トレをしよう」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	第2時の授業より行う作曲の授業の前段階として、タブレットを用いて楽譜を書く授業を行う。楽譜を書くということ、作曲をするということを、より手軽で身近に感じてもらうために単純なメロディラインの創作を行い、披露の場面として、授業で取り組んでいる耳トレーニングの聴き取りの活動と兼ねて行う。		
具体的な活用方法	① Metamoji のフォルダに五線譜をアップロードし、タブレットでの基本的な書き方を練習する。 ② 個々に、単純なメロディラインの創作を行い、五線譜に記入する ③ ピアノのソフトを使って、創作したメロディラインを耳トレーニングの問題として演奏する。電子黒板に教員のタブレットの画面を映しながら説明する。		
活用場面	導入 ・ <b>展開</b> ・ まとめ	計 35 分 程度	

## (9) 商業 (1年 簿記)

HR (講座)	11HR	実施教室	11HR
科目 (単元)	高校簿記「損益計算書」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	(1) 損益計算書の役割について理解している。 (2) 損益計算書の記帳を行うことができる。		
具体的な活用方法	損益計算書の役割や記帳方法を理解させるために、電子黒板に生徒と同じ問題を投影し視覚的にわかりやすく授業を行う。		
活用場面	導入 ・ <b>展開</b> ・ まとめ	計 40 分 程度	

## (10) 食物 (1年 調理)

HR (講座)	13HR	実施教室	13HR
科目 (単元)	「日常食と行事食・供応食の献立と調理」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	全国高等学校家庭科食物調理技術検定3級指定調理(鶏肉と野菜の煮物, 果汁かん)の手順を確認し, 調理技術向上のための知識を身に付ける。		
具体的な活用方法	全国高等学校家庭科食物調理技術検定3級指定調理(鶏肉と野菜の煮物, 果汁かん)の手順を説明する際に, 動画を電子黒板に映しながら説明した。従来はワークシートを用いて説明していたが, 動画を見せながら説明することで視覚的にもわかりやすく, 生徒が調理工程をイメージしやすくなるを考える。		
活用場面	導入・ <b>展開</b> ・まとめ	計40分程度	

## (11) 福祉 (2学年 介護総合演習)

HR (講座)	26HR	実施教室	26HR
科目 (単元)	介護総合演習「介護実習後の学習の内容と方法」		
ICT を活用する目的 (ねらい)	介護実習で学んだことを各自で整理し, 疑問点や課題をまとめ, 模造紙やPowerPointで示し, 他者にわかりやすく発表することで, クラスで学びを共有することができる。		
具体的な活用方法	介護実習で学んだことを各自で整理し, 疑問点や課題をまとめ, 模造紙やPowerPointで示し, 他者にわかりやすく発表することで, クラスで学びを共有することができる。		
活用場面	導入・ <b>展開</b> ・まとめ	計35分程度	

## 5 申込について

- (1) 別紙「視聴申込書」に必要事項を御記入の上、担当までメールで申し込んでください。なお、視聴については、教職員の方に限らせていただきます。
- (2) オンデマンド配信用のIDとパスワードは、随時、各校代表メールに送信いたします。
- (3) メールが届かない場合は、電話またはメールにて、担当までお問い合わせください。

## 6 その他

- (1) 配信する動画の録画及びダウンロードはしないでください。
- (2) アンケート実施に御協力ください。QRコード及びアドレスは、随時、各校代表メールに送信いたします。

担当 徳島県立小松島西高等学校 教諭 清水梨恵 電話 0885-32-0129 電子メール <a href="mailto:shimizu_rie_1@mt.tokushima-ec.ed.jp">shimizu_rie_1@mt.tokushima-ec.ed.jp</a>
--